

別役重之 先生によるCFAI・植物生命科学セミナー

令和7年11月20日(木)にCFAI・植物生命科学セミナーを開催し、龍谷大学農学部の別役重之教授に「植物－微生物相互作用の動態を捉えて理解する」というタイトルでご講演いただきました。

本セミナーでは、別役先生が長年開発してきたシロイヌナズナの実験系を用いて、病原細菌感染や傷害に対する植物の免疫応答をイメージングにより時空間的に捉えた研究をご紹介いただいたほか、最近取り組まれている根粒菌と植物の相互作用に関する研究についても大変興味深い研究結果をシェアいただきました。研究をしていると、解析や解釈を単純にする目的で実験系を単純化してしまう場合がしばしばありますが、そのような系では捉えきれない「リアルな」生命現象を観察しようとする誠実かつ精力的なご研究に大いに心を打たれました。未公表のデータも多くご紹介いただき残念ながら詳しくは書けませんが、植物と微生物の分子レベルの相互作用からその共進化まで、考えが深まる非常に有意義なセミナーでした。

植物生命科学コースの教員・学生のほか、農業経済学コース、動物生命科学コース、海洋生物科学コース、発酵微生物学分野の教員が参加ください、活発な議論を展開いただきました。学生に

とっては、研究の面白さと大変さの両方を知るよい機会になったと思います。

別役先生とご参加の皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。

(世話人 植物病理学分野 宮下脩平)



**東北大学大学院農学研究科
CFAI・植物生命科学セミナー**


別役重之 教授
龍谷大学農学部
多細胞動態研究室

「植物－微生物相互作用の動態を捉えて理解する」

日時：11/20(木) 16:20～17:50
場所：青葉山新キャンパス 青葉山コモンズ第1講義室

講演内容の予告

植物－微生物相互作用を制御する多くの遺伝子やそれらの機能が明らかにされましたが、感染という現象は時間経過に伴って様々に遷移していく現象です。このような相互作用用ダイナミクスを司る分子機構解明に向けて、シロイヌナズナや病原細菌、根粒菌などを用いて我々が展開しているイメージング研究について紹介します。

世話人からのご案内： 左の通り、別役先生は植物が病原体に対していつも免疫の動きを時空間的に捉える研究を独自の実験系と観察技術でなさってきました。生命現象の捉え方や技術面で植物病理学以外の分野の方にとってもとても面白いセミナーになると感じますので、是非ご参加ください。

連絡先：植物病理学分野 宮下脩平
shuhei.miyashita.d7[at]tohoku.ac.jp



別役先生(左)への感謝状の贈呈